

持続可能な原材料調達 連続セミナー

[全6回]

日本は、世界有数の資源消費国であり、多くの資源がさまざまな形で発展途上国から輸入されています。本来、原材料の調達にあたっては、日本国内だけでなく生産地における環境・社会配慮が欠かせないはずですが、複雑なサプライチェーンや情報の不足から、これらの問題は必ずしも消費国で認識されていないのが実情です。私たち消費者がより安いものを求め、企業がそれを提供することに注力すればするほど、原材料生産にあたって必要な環境社会配慮の費用が支払われず、そのツケを払うのは、環境問題や社会問題で被害を受ける現地の人々ということになりかねません。本連続セミナーは、私たちの身近な食や住まいなどに使用されている一次産品がいったいどこから来るのか、どのような環境社会影響が生じるのか、また、それを解決するための企業の取り組み事例について報告します。

開催日時・内容

第6回 企業の取り組み事例 12月12日(火) 13:00~16:15

場所：新宿御苑インフォメーションセンター

原材料のCSR調達に関する企業の取り組みが始まりました。しかしその過程は決して容易ではありません。企業の方々の取り組みを紹介します。

【イントロダクション】

資源の持続可能性と原材料調達～第5回までを振り返って

満田 夏花 / 地球・人間環境フォーラム

【CSR調達に向けた企業の取り組み】

通販大手の紙・木材調達～合法性、そして持続可能性へ(仮題)

アスクル株式会社

食へのこだわりをブランドに(仮題)

上山 静一 / イオン株式会社 環境・社会貢献部 部長

商品憲法の経験から(仮題)

竹本 徳子 / 株式会社カタログハウス 取締役 エコひいき事業部長

【会場とのディスカッション】

CSR調達の新たな展望

モデレーター：足立 直樹 / (財)地球・人間環境フォーラム客員研究員、(株)レスポンスアビリティ代表取締役

会場

「第6回 企業の取り組み事例」(12/12開催)の会場は新宿御苑です。

[新宿御苑インフォメーションセンター2F レクチャールーム](#)

(東京都新宿区内藤町11 新宿御苑内)

新宿御苑前駅(東京メトロ：丸の内線)1番出口(新宿門)より新宿門へ。徒歩5分

新宿駅(JR)南口より徒歩10分

インフォメーションセンターは新宿門に向かって左側にある建物です。御苑内には入りません。入園料は必要ありません。



申込方法

下記事項を記載の上、bwa15929@nifty.com までメールにてお申し込み下さい。

お申し込み会合(第5回、第6回など)、氏名、所属、肩書き、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス、

主催団体または協力団体の会員の場合は所属先

参加費: 各回 1,000 円 (4回以上の参加: 一律 3,000 円、主催団体、協力団体の会員は無料)

お問い合わせ

地球・人間環境フォーラム 担当: 根津亜矢子・満田夏花

E-mail: bwa15929@nifty.com Tel: 03-3592-9735 Fax: 03-3592-9737 URL: <http://www.gef.or.jp>

【主催】地球・人間環境フォーラム

【協力】FoE Japan、WWF ジャパン、グリーンコンシューマー研究会、グリーン・フォワード、サステナビリティ・コミュニケーション・ネットワーク(NSC)、日本環境ジャーナリストの会、日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会(NACS)、バイオマス産業社会ネットワーク(BIN)、標準により消費者の利益を増進するコア・グループ(NCOS) (ABC/50 音順)

第1回～第5回の内容

第1回 “食”の原材料と持続可能性

食卓からみた生物多様性
足立直樹 (CSR 経営研究所 / 地球・人間環境フォーラム客員研究員)
世界の漁業は今
井田徹治 (共同通信社科学部)
持続可能な漁業と認証制度の可能性
伊沢あらた (WWF ジャパン)
企業の取り組み事例
満田夏花 (地球・人間環境フォーラム)

第2回 植物油脂(パーム油と大豆油を例に)

持続可能なパーム油と大豆油とは? ~ 最近の議論から
満田夏花 (地球・人間環境フォーラム)
パーム・プランテーションの現場から
峠 隆一 (フリージャーナリスト)
持続可能なパーム油のための基本方針採択を振り返って
足立直樹 (CSR 経営研究所 / 地球・人間環境フォーラム客員研究員)
サラヤの取り組み
中西宣夫 (サラヤ株式会社)
エコ燃料の落とし穴 地域産バイオマスにこだわるわけ
泊みゆき (バイオマス産業社会ネットワーク)

第3回 鉱物資源

鉱物資源の生産における環境社会影響
谷口正次 (国連大学ゼロエミッションフォーラム理事)
CMM (国際金属・鉱業評議会) などの業界の取り組み
満田夏花 (地球・人間環境フォーラム)
事例研究1: インドネシア、バツ・ヒジャウ鉱山
貴島兼隆 (ヌサ・テンガラ・マイニング(株)取締役副社長)
事例研究2: ニューカレドニア、ニッケル鉱山開発
井田徹治 (共同通信社科学部)
事例研究3: フィリピン、リオツバ・ニッケル製錬事業
波多江 秀枝 (国際環境 NGO FoE Japan)

第4回 木材と木材製品

グリーン購入法改定で進む日本の違法伐採対策 ~ 持続可能な森林経営を支える需要側の最近の動き
坂本 有希 (地球・人間環境フォーラム / フェアウッド・キャンペーン)
環境に配慮したコピー用紙とは ~ 用紙調達規定の制定と運用
秋山 裕之 (富士ゼロックス(株) CSR部環境経営管理Gグループ長)
増える中国の木材需要と中露国境の木材貿易
山根 正伸 (神奈川県自然環境保全センター研究部専門研究員 / 総合地球環境学研究所アムールオホーツクプロジェクトメンバー)
インドネシアで広がる木材の合法性・持続可能性証明の試み
三柴 淳一 (国際環境 NGO FoE Japan / フェアウッド・キャンペーン)

第5回 責任ある融資

持続可能な原材料調達における金融の役割
藤井 良広 (上智大学大学院地球環境学研究科教授)
資源開発と責任ある融資 過去の事例に学ぶ
神崎 尚美 (国際環境 NGO FoE Japan)
エクエーター原則採択から 3年 ~ みずほコーポレート銀行の経験
小田原 治 (みずほコーポレート銀行グローバル環境室 室長)
NGO が銀行を変えた ~ 責任ある融資へ向けた市民社会の力
川上 豊幸 (レインフォレスト・アクション・ネットワーク)

(2006年11月24日更新)

最新情報及び過去のセミナーの内容は下記をご参照下さい。

www.gef.or.jp/seisakuteigen/genzairyuu_seminar2006.htm